

## ニュース

## 日中若手研究者交流と特別講演会の報告\*

田 中 豊\*\*

## 1. はじめに

日本フルードパワーシステム学会では、国際交流事業の一環として、平成15年(2003年)より、中国の機械学会に相当する中国機械工程学会流体伝動及制御分会との間で、研究者の人材交流を進め、毎年交互に双方の若手研究者交流を実施し、これまで双方で延べ8名の研究者交流が行われてきた。また2010年からは日中の研究者・技術者による日中国際共同ワークショップも始まっている。

また平成19年(2007年)からは、国際的センスを有する日本人、また、日本を良く理解する親日のフルードパワー海外研究者をこれまで以上に養成し、日本の研究成果を広く海外へ発信するために、広く国内外から奨学生を募集し、奨学金を授与することにもなった。今後も、アジア地域を中心に、優秀な国際派人材の交流と育成を戦略的に進めることが、時代を担うフルードパワー研究者・技術者の維持確保には不可欠である。

特に日本と中国の若手フルードパワー研究者・技術者の交流は、主に中国からの留学生の形で二十数年続けられてきた経緯がある。この最初の頃の留学生は、中国帰国後の現在、大学の学長や副学長、学会会長、研究所長などとしてフルードパワー研究の第一線で活躍している。さらに、フルードパワー関連企業の多くは中国に生産拠点や研究拠点を設置し交流も深い。しかし、巨大市場中国全体の様子は、日本から見ると未知数の部分も多く、今後の中国の動向は、学会のみならず、産業界からも興味あるものとなろう。日中の交流は学会としても優先順位の高い、大切な事業である。

## 2. 本年度の若手研究者交流事業

今年度は日本側が中国の若手研究者を招聘し

\*平成21年12月12日 原稿受付

\*\*法政大学デザイン工学部

(所在地：〒102-8160 千代田区富士見2-17-1)



写真1 趙教授と横田会長・香川副会長  
(東工大すずかけ門前にて)

交流を深める年であり、3年に1度、学会が主催する国際シンポジウム(沖縄)の開催とも重なることもあり、本シンポジウム期間を含む2011年10月24日～11月2日の10日間の日程で、中国の学会側からの推薦により、吉林大学の趙丁選(Prof. Zhao Ding Xuan)教授をお迎えした。

趙教授は1965年生まれの46歳、中国のフルードパワー、特に建設機械や自動車、シミュレータ研究に大きな影響力を持つ新進気鋭の研究者である。1992年に吉林工業大学で工学博士の学位を取得された後、主に吉林大学で教育研究に従事され、1998年からの2年間、日本の岐阜大学(当時の武藤教授と山田教授の研究室)へ留学滞在した経験をお持ちの親日家で、現在は吉林大学大学院の筆頭副学長の要職を務めておられる。

今回は奥様ご同伴での来日となり、沖縄の国際シンポジウムは、プレテクニカルツアーやウェルカムパーティー、特別講演、各技術セッション、バンケット、ポストテクニカルツアーのフルスケジュールへの参加をご招待した。またその後3日間、ご夫妻を東京にお招きし、学会事務局への表敬訪問、東京工業大学大岡山キャンパスの北川・塚越研究室、すずかけ台キャンパスの横田・吉田研究室と香川・川嶋研究室(写真1)、上智大学四谷キャンパスの築地研究室、法政大学市ヶ谷キャンパスの田中研究室の見学などを精力的に実施



写真2 講演中の趙教授

した。

また滞在最後の11月1日(火)の夕方には、法政大学市ヶ谷田町校舎において、学会主催の特別講演会が開催された。写真2に趙教授の講演の様子を示す。講演は「中国の建設機械産業とフルードパワー制御技術」と題して、中国近年の建設機械産業の発展状況、主な建設機械種類とそのフルードパワー制御技術の応用状況や問題と欠点、中国経済の発展につれた建設機械とそのフルードパワー制御技術の未来と課題、ご自身のチームの最新の研究テーマなどの話題について、流暢な日本語で1時間ほど行われた。油圧企業や建設機械関連企業、大学関係者など43名の参加者があり、中国の教育研究の現状や問題点などに関する趙教授の率直な感想なども語られ、最近の中国情

勢などに関する質疑応答などたいへん盛会であった。終了後は法政大学ボアソナードタワー25階に会場を移し、東京の夜景を肴に、趙教授ご夫妻と参加者を囲んだフェアウェルパーティーが行われ、夜遅くまで深い日中交流のための懇談は大いに盛り上がった。写真3は最後の記念撮影である。

### 3. おわりに

趙教授のお話によると2012年8月初めに中国のフルードパワーに関する国内学会が長春市の吉林大学を会場に行われる予定とのことである。長春市は旧満州国の首都で日本とのかかわりも深い。来年度は日本から中国へ若手研究者を派遣する順番で、中国側は日本の若手研究者をこの会議へ招聘することを計画しているとのことである。また2012年5月には、日本側の主催による第2回フルードパワーに関する日中国際ワークショップが東京で開催される計画である。日中の今後のさらなる交流の深化が期待される。

最後に今回の趙教授ご夫妻の日本滞在に際し、研究室の見学対応など多くの方々にお世話になった。この場を借りて感謝申し上げます。

---

[著者紹介] (\*\*ページ参照)



写真3 フェアウェルパーティーでの記念写真